

L^AT_EX hamacro パッケージ

2014 年 10 月 3 日

hamano

目次

1	はじめに	2
2	使い方	2
2.1	pandoc での利用方法	2
2.2	Re:View での利用方法	2
3	用例	2
3.1	文字修飾	2
3.2	quote 環境	3
3.3	verbatim 環境	3
3.4	verbatim60	3
3.5	verbatim40	3
4	コードリスティング	4
4.1	コマンドライン	4
4.2	C	4
4.3	Python	4
4.4	80 文字テスト	4
5	レイアウト	5

1 はじめに

これは私が本や文書を組版する際に利用する L^AT_EX のスタイルパッケージです。

80 文字ピッタリおさまる verbatim 環境や、各種プログラミング言語のコードハイライティングなど、主にプログラミングに関する文書に適しています。

既存の L^AT_EX 文書で簡単に利用できることと、pandoc や Re:View が出力する L^AT_EX で利用することを想定していますので、新しいマクロを定義するというよりも既存のマクロや環境を書き換えています。

このパッケージは Apache ライセンス 2.0 で配布していますので、利用、改変、部分的なコピーなど自由です!

2 使い方

hamacro.sty を然るべき場所に配置し、プリアンプルに

```
\usepackage{hamacro}
```

と記述するだけでこのドキュメントの様なスタイルで組版できます。

具体的な用例は example.tex や hamacro.dtx を参照して下さい。

2.1 pandoc での利用方法

2.2 Re:View での利用方法

3 用例

3.1 文字修飾

emph による強調

textbf による**強調**

3.2 quote 環境

“ 吾輩は猫である。名前はまだ無い。
どこで生れたかとうんと見当がつかぬ。

3.3 verbatim 環境

半角 80 文字がちょうど収まるサイズにしています。ソースコードやコマンドラインの提示には verbatim 環境よりも listings を推奨します

```
012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
```

フォントが小さくなって嫌だ、という方のために 60 文字がちょうど収まる verbatim60 と verbatim40 を用意しています。

3.4 verbatim60

```
012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
```

3.5 verbatim40

```
0123456789012345678901234567890123456789
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
```

4 コードリスティング

4.1 コマンドライン

```
# uname --machine
x86_64
```

4.2 C

```
#include <stdio.h>

int main(int argc, char *argv[]){
    printf("Hello World!");
    return 0;
}
```

4.3 Python

```
def hello():
    print('Hello World!')

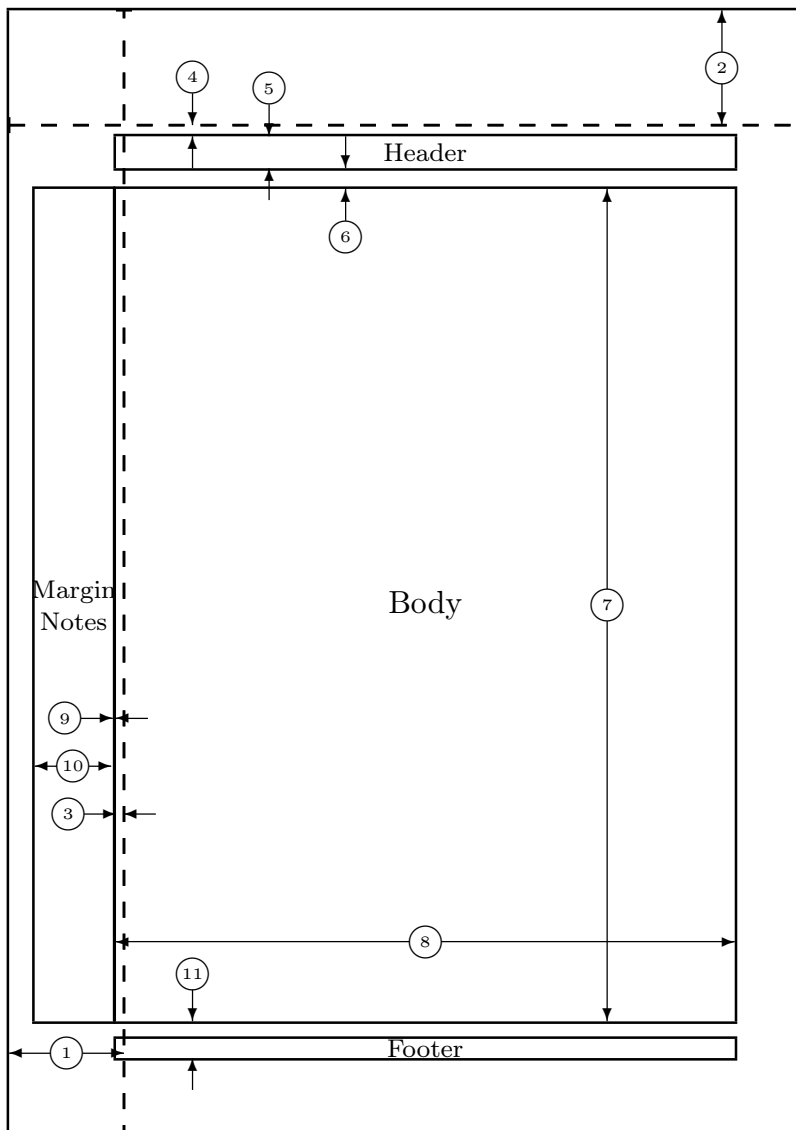
if __name__ == '__main__':
    hello()
```

4.4 80 文字テスト

```
01234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789
```

L^AT_EX

5 レイアウト



1	one inch + \hoffset	2	one inch + \voffset
3	\oddsidemargin = -5pt	4	\topmargin = 7pt
5	\headheight = 20pt	6	\headsep = 13pt
7	\textheight = 522pt	8	\textwidth = 388pt
9	\marginparsep = 2pt	10	\marginparwidth = 49pt
11	\footskip = 23pt		\marginparpush = 0pt (not shown)
	\hoffset = 0pt		\voffset = 0pt
	\paperwidth = 497pt		\paperheight = 704pt